

講義コード	25468027	
担当者	野村宗訓教授	
研究題目	民営化と規制緩和の経済分析	
研究内容	<p>民営化・規制緩和は経済を活性化させる方策として世界的に注目されている。近年では郵政公社が民営化され、経営改善が期待されている。また、1980年代半ばには国鉄・電電の民営化が実施され、大きな関心事になった。その後も NTT の企業分割や通信事業者間の合併再編、高速道路や整備新幹線等の社会インフラの充実、更に震災後の原発再稼働や再生可能エネルギーの促進、ピーチのような LCC の参入と関空・伊丹の経営統合といった問題が経済ニュースとなっている。</p> <p>民営化・規制緩和の分析では市場経済（競争原理）と公的規制（政府介入）のバランスを経済政策、産業組織論、公共経済学などの観点から多面的に考える必要がある。</p> <p>本ゼミナールでは競争促進の政策的意義、産業政策の展開と特徴、主要産業の産業組織、公益事業の規制改革、規制機関の任務についての理解を深めながら、民営化・規制緩和の実態と課題を解明していく。自動車、鉄鋼、石油などの製造業に対する保護的措置や、通信、電力、ガス、水道、鉄道、航空、空港などのネットワーク産業における自由化推進が具体的な考察内容に含まれる。欧米を中心とする他国の事例にも着目しながら、民営化・規制緩和の政策運用をグローバルな視点から検討していきたい。</p>	
運営方針	<p>最初はパワーポイントを使用したグループ報告を通して基礎的な知識を習得する。その後、テーマ別に雑誌論文などを題材にしながら、ディスカッションを重ねる。最終的には各人が興味のあるテーマを選び、参考文献に基づきながら卒業論文の作成に取り組む。</p> <p>機会をみてインフラ業界の方を招いて、現状について解説してもらう。また、空港等の施設見学会を実施する。毎年度12月に他学部及び他大学のゼミと討論会を開催し、交流を深めている。</p> <p>民営化・規制緩和とその延長線上に位置づけられる規制改革がなお世界的に進行中であるので、経済動向や政治情勢を積極的に把握しようとする前向きな姿勢が不可欠となる。</p>	
受け入れ条件	第1志望で応募した人は必ず面接を受けてください。	
担当者のプロフィール	専攻	産業経済学・公益企業論
	現在の研究テーマ	公益事業の民営化と規制緩和
	所属学会	公益事業学会、国際公共経済学会、日本経済政策学会